

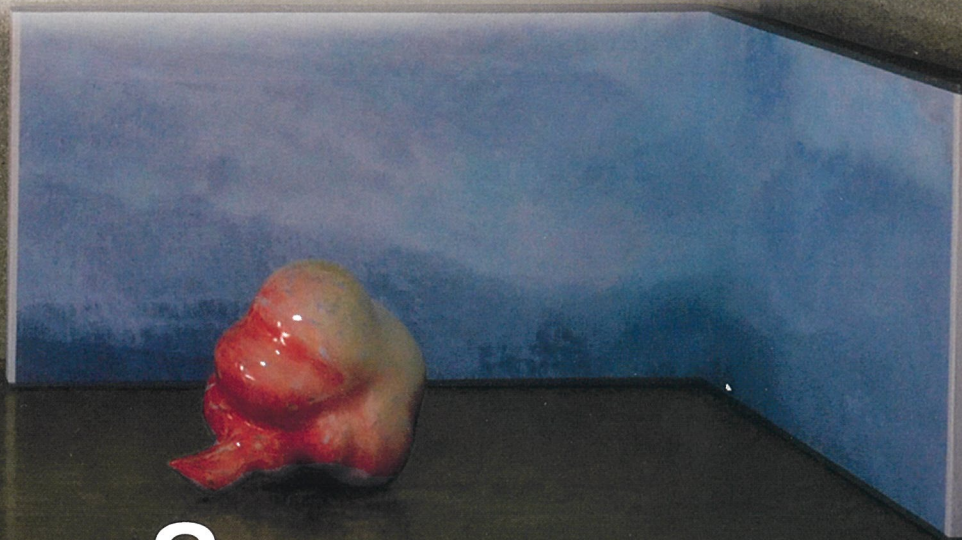
第2回

茶室と現代美術

- 和美・西美 -

WABI ・ SABI

玉島の茶室群 x 現代美術を巡る特別ツアー



2026 年

11月7日(土) 8日(日)

第2回 茶室と現代美術 - 和美・西美 - “Wabi - Sabi”

玉島の七茶室と遊美工房 八人の美術家は八つの場所を見立て
作品をそっと住まわせる 数寄の心が育んだ空間に
作品は余白を得て息づく 作品の「息」は場所の「粹」と響き合い
歴史は静かに現在となる その妙や如何

作家紹介

かとう かずみ KATO Kazumi 世界各地を訪れその場所で制作するポストカード作品から
現在は具象・抽象・平面・立体と技法も素材も多種多様に拡張し続ける。

塩野 太朗 SHIONO Taro きっと誰もが目にしたことのあるような風景。その中に在る
ちょっとした気付きや疑問などを「彫刻」という形式を借りて発信している。

武本 大志 TAKEMOTO Hiroshi 乾漆技法を用い、日本の妖怪や神獣を制作。古くから語り
継がれる異形の存在に現代人の心情を重ね合わせ、新たな物語を紡ぐ。

中込 靖成 NAKAGOMI Yasunari 〈Landscape - 風景〉シリーズは、自然現象や社会現象を
含有する、普遍的な眺めであり、同時に各人の持つ原風景に想いをはせる。

永沼 すみ子 NAGANUMA Sumiko テーマや設定にこだわらない。何が飛び出すか分から
ない。具象と抽象の枠を超えて、言葉や理屈も超えて、枠にとらわれない自由なひらめき。

永沼 直孝 NAGANUMA Naotaka 鋳造過程の痕跡が残る金属作品。粘土と指が産み出す
温かみのある陶作品。どんな時も、目に見えない熱いエネルギーを表現する。

三木 サチコ MIKI Sachiko 人物彫刻を軸に、見立てやユーモアを取り入れた立体作品を制作。
親しみ易い形が日常の風景を少しだけ軽やかに変える。

三木 俊治 Miki Toshiharu 世界を放浪して群衆を観つづけながら〈行列〉シリーズが生まれ
た。現在も足と手を使うことを信条として“不思議”を探し続ける。

玉島の茶室群＋現代美術 巡り 茶室紹介

三宅家

西園一四畳半茶室
寛政期に建てられた四畳半の茶室で大正6年に二棟
の蔵の露地を経た住宅に移築。洞床、色紙窓、下地窓、
苅(すさ)壁、天井、太鼓襖等古茶室が保存されてい
る。藪内十代竹翠により「西園」と命名された。か
つては、茶室の縁側の外には浜と石積の岸壁があり、
玉島湊に入港する千石船が見えたという。

浅沼家

林月亭一八畳書院茶室 文久元年(1861)頃、肥料問
屋の林庄兵衛により建てられた一間床、違棚、付書院
をそなえた純然たる書院座敷。狹潜り、花菱の釘隠し、
付書院欄間の扇面つなぎ等風雅な味わいも。昭和の初
めに造り酒屋を営んでいた浅沼貞さんの所有となり、
「林月亭」と命名。かつては、茶道以外にも和歌の会、
煎茶の会、書道教室等文芸を中心に多方面の活動の場
として使われ、現在も表千家流の稽古座敷として使わ
れている。

佐藤家

滄浪亭(四畳半席)
建築年代は百年ほど前と伝える。(大正期?)床は、
点前座側にある、いわゆる亭主床。円組の格天井の網
代張り、円窓の割竹の装飾、茶道口の竹の方立など、
竹の多用が特徴。かつて、茶道口と対角の位置に躰口
があいていた。

多賀家

茶室(四畳半席)
建築年代は近代。六畳の主座敷と次の間四畳半の続き
間だが、四畳半はとくに数寄屋風。その南北は露地。
主屋(大正・昭和戦前期)の西隣りに客間を増築し、
のち四畳半に炉を切ったものか。床は、間口一間半、
奥行半間の松空板の大材を敷いた踏込床。北陸でも、
北前船主の屋敷によく見られる。

萱谷家

遠庵一台目三畳向板席
弘化2年(1845)以降に、玉島の有力な廻船問屋萱谷
家の隠居所に建てられた茶室。「遠庵(えんなん)」は
藪内十代竹翠よる命名であったという。客畳との境に
袖壁を設け、そのまま上がって、天井あたりで垂れ壁
となっている。藪内家の二畳台目の茶室「雲脚」の構
成に通じ、同じ設計意図がうかがわれる。

岡山県立玉島高校 入場無料 10:00-17:00

玉芳亭一四畳半本勝手四畳半切の席
吉川芳一郎氏が茶室建築材料一式を岡山県玉島高等女
学校に寄贈。藪内家出入りの数寄屋棟梁の手により昭
和10年に竣工。昭和35年に現在地に移築された。
席名は、玉島の「玉」と吉川芳一郎の「芳」を取って
命名されたという。現在も藪内流の指導者のもと茶道
部生徒によって活用されている。

備後屋

霽晴庵(四畳半席)
建築年代は戦後まもなく。
斜面に離れが点在する旅館の一棟。
貴人口や多くの窓をあけるが、眺望は求めず、落ち着
いた席になっている。茶道口や、外部の袖壁の刀掛な
どに、藪内流の手法を見る。



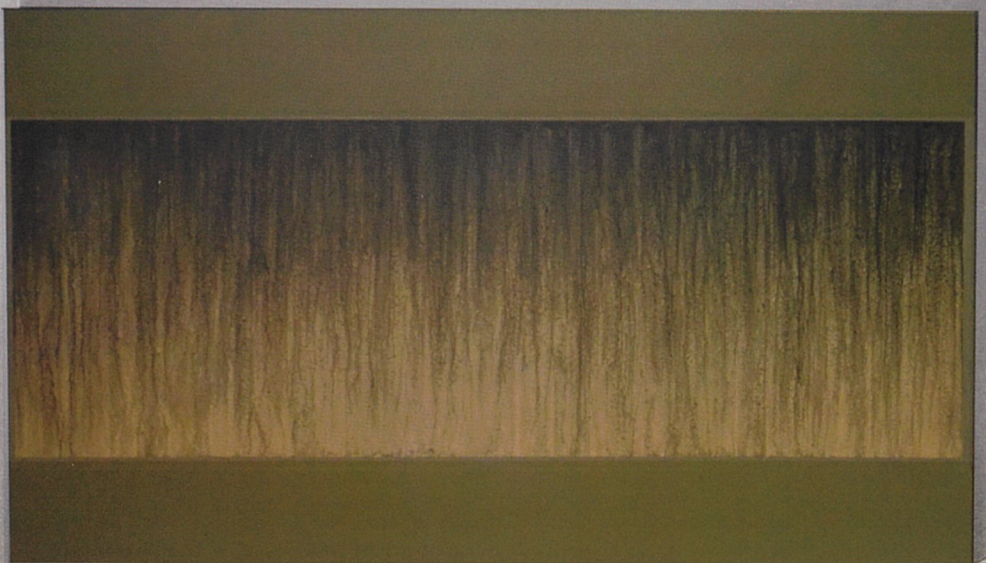
ギャラリー展示・アートスペース遊美工房

遊美工房にて全アーティストの作品を展示
11月7日/8日 時間: 10:00~17:00
入場無料

〒713-8122
岡山県倉敷市玉島中央町 1-6-21
TEL:090-5378-6675
<https://yumikobo.org/>



※ 茶室巡りは別途お申し込みが必要です。詳細は別紙をご参照ください。



かとう かずみ

塩野 太朗

武本 大志

中込 靖成

永沼 すみ子

永沼 直孝

三木 サチコ

三木 俊治

茶室群会場

佐藤家(滄浪亭)

浅沼家(林月亭)

備後屋(霧晴庵)

萱谷家(遠庵)

多賀家(茶室)

三宅家(西園)

県立玉島高校(玉芳亭)

ギャラリー展示(同時企画)
アートスペース遊美工房



Tea Ceremony Rooms and Contemporary Art